



門 凡名
蒲 1387
卷 6



撰陽群談卷第六

後志編集

○江ノ部 歌、各所俗ノ名ノ所

難波江 西成郡ニ属ス難波ノ号惣テ始ニ

論レ之所々ニ不詳

風六 心ありてささくも形き難波江の表のうき六行くもわさび 奔蓮

續十 難波江の舟は此の舟き夜に曉と成くぬく千鳥の因平

六冬 同二 舟は江の舟は此の舟き夜に曉と成くぬく千鳥の因平

難波入江 同郡ニ属ス右ニ同じ

同三 難波江の舟は此の舟き夜に曉と成くぬく千鳥の因平

同四 難波江の舟は此の舟き夜に曉と成くぬく千鳥の因平

同五 難波江の舟は此の舟き夜に曉と成くぬく千鳥の因平

同六 難波江の舟は此の舟き夜に曉と成くぬく千鳥の因平

難波ナニハ江ノ 同郡二属ス右二同じ

万六 行テ多難波の小江ハはタ多クなりテ行ハ下略
掘ホリ江ノ 同郡二属ス掘江川ト題シテ詳ニ川

ノ部ニ論之因ッテ于是畧ス

日本書紀卷第十一云仁徳天皇十一年冬

十月掘宮北之郡ツクノノ原引南水以入ニ西海因ツ以テ

号其水曰掘江云々 同卷第廿二云掘古

天皇廿七年秋七月撰津國有漁父ハ沉畧於

掘江有物入畧其形如兒ノ非魚非人不知所

名云く或ハ難波掘江ト稱ス

万六 堀江ハ玉ノ浦也大志ハ云ク是ハ堀ノ名ナリ云々

堀江

續後 拾十四 此ハ堀ノ小江也形如人トも思フ也

堀後 此ハ堀ノ小江也形如人トも思フ也

五十 此ハ堀ノ小江也形如人トも思フ也

拾十二 此ハ堀ノ小江也形如人トも思フ也

三津江 同郡二属ス難波江二同じ

六帖 堀ノ三津ノ地ハ好摩ノ名ハ後也

夫木 此ハ堀ノ小江也形如人トも思フ也

三 此ハ堀ノ小江也形如人トも思フ也

津村江 同郡二属ス夫木集撰津國ニ比ス

今大坂ノ市中ニ津村町ト稱スルノ地ア

リ舊蹟トスルモノ款方角所指不詳

蘆若江

同郡二属ス方角所_レ指_ス不_レ詳難波江

ノ一各タ_ル坎一_レ訖川邊郡尼崎ニアリト

云_リ夫木集撰津國ニ比ス

家集 難波_ノ漕_ノ浦_ノあり_レ此_ノ江_ノは_レも_レむ_レり_レり_レ字_ノ終_ニ元_ノ真

玉造江 東生郡玉造川ニ属ス川部ニ論_レ之_ツ

夫木集撰津陸奥ノ兩國ニ比ス

新勅 入_レる_レは_レい_レく_レ勢_ノは_レと_レさ_レぬ_レを_レぬ_レれ_レ也_ノ 小町

冬二 月_ノも_レむ_レむ_レの_レい_レか_レ敷_ノや_レ氷_ノも_レる_レも_レる_レを_レ有_レる_レ也_ノ 俊成

内五 河_ノの_レ勢_ノは_レけ_レり_レと_レぬ_レを_レぬ_レれ_レ也_ノ 知家

住之江 住吉郡住吉ニ属ス神社ノ南_ノ安_ノ一_ノ之_ノ

町ノ北_ノ口_ノ東_ノ西_ノ二流_ノル_ノ所_ノヲ_レ指_ト云_レリ

万五 馬_ノ乃_レあ_レを_レ行_レく_レと_レめ_レは_レは_レの_レ名_ノの_レも_レ類_ノあ_レる_レ也_ノ 世經

續後 七_ノの_レ勢_ノは_レき_レく_レも_レ信_ノの_レい_レか_レ敷_ノも_レる_レ也_ノ 国道

續千 九_ノの_レ勢_ノは_レき_レく_レも_レ天_ノの_レい_レか_レ敷_ノも_レる_レ也_ノ 俊成

住吉細江 同郡同所ノ一_ノ名_ノ也

詞雜 住_レ吉_ノ細_ノ江_ノの_レ勢_ノは_レき_レく_レも_レ天_ノの_レい_レか_レ敷_ノも_レる_レ也_ノ 相模

千五 住_レ吉_ノ細_ノ江_ノの_レ勢_ノは_レき_レく_レも_レ天_ノの_レい_レか_レ敷_ノも_レる_レ也_ノ 顯昭

百番 住_レ吉_ノ細_ノ江_ノの_レ勢_ノは_レき_レく_レも_レ天_ノの_レい_レか_レ敷_ノも_レる_レ也_ノ 宗吉

名吳入江 同郡名吳海ニ同ジ亦名吳江_ノ也

万七 湊_ノの_レ勢_ノは_レき_レく_レも_レ天_ノの_レい_レか_レ敷_ノも_レる_レ也_ノ 家持

夫木 冬_ノ二_ノ 風_ノの_レ勢_ノは_レき_レく_レも_レ天_ノの_レい_レか_レ敷_ノも_レる_レ也_ノ 実清

日笠 於_レ此_ノの_レ勢_ノは_レき_レく_レも_レ天_ノの_レい_レか_レ敷_ノも_レる_レ也_ノ 基良

衣笠
丹大

同十 三嶋江 鳴上郡三嶋江村ヲ指リ

三嶋江 鳴上郡三嶋江村ヲ指リ

後拾 一春 詞九 夫木 春三 玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

後撰 十八 金葉 二夏 玉三 難五 夫木 難五

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

玉江 同郡同所ノ一名也越前ニ同名アリ

夫木 久く さらやほの入江 於ちもさうし 風をさすのてし 俊成

和田ノ入江 同郡兵庫ニアリ

天木 五 塩尻ハ尾の松をさすれ 留此入江 砂の月影 紫金山寺 二品御子

淡ノ江 同郡同所 淡川ニ属ス 一説兵庫津ニ

入ノ水門ヲ指リ

續古 十七 夕立れもさす ぬれぬれわのわの繁とよ 風の涼さ 時親

源ノ佐ノ入江 同郡同所ニアリ 萬葉集 須沙未

考ノ國云く 夫木集 下総尾張兩國ニ比セリ

大名寄撰津國ニアリ 或ハ洲沙ニ作ル

五十四 あられも 須沙の入り ともさぬわわ みるく 風をさす

續古 十六 ありわは 佐佐入江の ちも繁ぬ 風をさす けおさる 頭朝

夫木 雜九 鹽尻の 入り ぬれぬれわわ みるく 風をさす 時親

佐比ノ江 同郡同所 須佐ノ入江 人北ニアリ

後撰 十五 わらぬれぬれわわ みるく 風をさす けおさる 頭朝

源磨ノ入江 同郡瀬太村ニアリ 海浦ニ曰レ

續古 十六 ありわは 佐佐入江の ちも繁ぬ 風をさす けおさる 頭朝

隠ノ江 同郡同所 一各トスル 軟

五葉 ありわは 佐佐入江の ちも繁ぬ 風をさす けおさる 頭朝

六帖 ありわは 佐佐入江の ちも繁ぬ 風をさす けおさる 頭朝

州香ノ江 方角未考 夫木集 下総國ニ比セリ

大名寄撰津國ニ比入 歌名所 州香山アリ

山ノ部ニ 論之 一説川邊郡ニ属ス

万四 古の記入に於て其方田の記入をくしなるありき

撰九 くらゐの記入に於て其方田の記入をくしなるありき

大木 其方田の記入に於て其方田の記入をくしなるありき

太刀作江 方角未考 一説東生郡 一説高ス

云、此所指、不詳

堀百 くらゐの記入に於て其方田の記入をくしなるありき

後拾 其方田の記入に於て其方田の記入をくしなるありき

濁江 方角未考 一説西成郡 二説高ス云、此

所指、不詳、亦非、各所、江ノ濁、タル云、此

款トモ云、リ各寄名所ニ比ス

長後 濁江の記入に於て其方田の記入をくしなるありき

七手 濁江の記入に於て其方田の記入をくしなるありき

續後 拾四 わむそは... 伊勢

鳥江 方角證歌未考 能因法師歌枕撰津國

鳥江 宮ノ... 是シ以テ鳥上郡ニ鳥

江ニ鳥神社トスル欵

潮江 川邊郡潮江村ニアリ所傳云河原九

大臣源融公鹽竈ノ浦ヲ摸スルノ時此所

ニ於テ潮ヲ汲シ人給フ一因テ潮江ノ号

アリト云、リ此外江ト稱スルハ皆地名村

里ノ号ニ因リ俗名所トスルニ不足

○湊ノ部 歌、各所俗、各所附、冲洲、
難波水門 西成郡ニ属ス所、指海浦ニ同ジ

御津水門 同郡ニ属ス右ニ同ジ
千載 手紙に難波は昔のほのやわらけ津よ馬鳴なり 加茂 成保

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
夫木 難七 わらけの世とるをいふまにたのち津より舟をくわ 元俊 舟家 好志

難波沖 同郡難波水門ニ同ジ
千載 難波浮志を流るるも見渡せを成り津よ沖の舟 圓玄 法師 後糸

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
夫木 難七 わらけの世とるをいふまにたのち津より舟をくわ 元俊 舟家 好志

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
夫木 難七 わらけの世とるをいふまにたのち津より舟をくわ 元俊 舟家 好志

一之洲 同郡ニ比ス方角 雜類門水忍街石
二論之、今ノ一之洲ハ安治川先給村ノ西
波除山人住ニアリ藻鹽一洲、横津ニ比ス
家集 入ぬ、波除の島、よしまやいらの例、河と同し、も那く、俊頼
右一乃例、入る、小同、滴、うる、ゆ、あり、

住吉水門 住吉郡住吉ニ属ス
夫木 春七 名所とて、わらけの世とるをいふまにたのち津より舟をくわ 元俊 舟家 好志

住吉沖 同郡右ニ同ジ
夫木 春七 名所とて、わらけの世とるをいふまにたのち津より舟をくわ 元俊 舟家 好志

住吉沖 同郡右ニ同ジ
夫木 春七 名所とて、わらけの世とるをいふまにたのち津より舟をくわ 元俊 舟家 好志

住吉沖 同郡右ニ同ジ
夫木 春七 名所とて、わらけの世とるをいふまにたのち津より舟をくわ 元俊 舟家 好志

同郡住吉二同

十根 十根 津守沖 津守沖 住吉 住吉 同郡 同郡 住吉 住吉 二同 二同

水魚瀬淡 鳥上郡廣瀬村二属ス

猪名水門 豊島郡ニアリ方角海二同

猪名沖 同郡右ニ同

撰津國猪名沖ト出タリ

長洲 川邊郡長洲村ニ属ス

武庫水門 武庫郡武庫村ニ属ス

部郡兵庫湊ニ属ス

日本書紀卷第九云神功皇后十年皇后之

能進更還務古水門而ト之云

武庫沖 同郡同所ノ沖ヲ指リ

鳴尾沖 同郡鳴尾村ニ属ス

海浦ニ同

攝政前
右大臣

推經

為相

藤原綱

頭仲

隆信

猪名沖 同郡右ニ同

撰津國猪名沖ト出タリ

長洲 川邊郡長洲村ニ属ス

武庫水門 武庫郡武庫村ニ属ス

部郡兵庫湊ニ属ス

日本書紀卷第九云神功皇后十年皇后之

能進更還務古水門而ト之云

武庫沖 同郡同所ノ沖ヲ指リ

鳴尾沖 同郡鳴尾村ニ属ス

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

海浦ニ同

十六 久下と八幡の方の傍に之は鳴尾の沖に出る 実家

十九 いづれ山とそなるの沖に之は同の山からぬ家村の沖に 家長

御前沖 同郡廣田村ニ向リ引書濱ニアリ

千七 けしとくはつ乃沖をいづれと申すは海の方より船 頼実

夫五 船のきよはつ沖をいづれと申すは海の方より船 隆信

廣田社 引書濱の沖の松の根に此の沖のきよはつ沖をいづれと申すは海の方より船 不知

蘆屋沖 免原郡芦屋村ニ向リ

新勅 八旅 船のきよはつ沖をいづれと申すは海の方より船 後成

夫五 同株 船のきよはつ沖をいづれと申すは海の方より船 公通

八 夕下、若原沖の風をいづれと申すは海の方より船 実家

輪田沖 同矢田部郡兵庫和田崎ニ向リ

續日本後紀云、兼和三年、入唐使、船寄宿、撰

津、國輪田、澳云、沖ヲ讀ル歌未考

澳、白洲、方角所、指、未考、海ノ下、方、白濱ト成

ル耳、坎、夫木、集、名、所、ニ、比、ス、崎ノ部ニ論之

夫木 同九 船のきよはつ沖をいづれと申すは海の方より船 西行

高師沖 方角不詳濱ノ部ニ論之

夫木 同九 船のきよはつ沖をいづれと申すは海の方より船 西行

玉江沖 方角不詳嶋上郡三嶋江ノ玉江ト

夫木 同九 船のきよはつ沖をいづれと申すは海の方より船 西行

入ル、坎、江ノ部ニアリ

夫木
サウ五
秋少々といはれしゆら枕人かつて小月代り。 家隆

○同俗名所

鐵箍洲 川邊郡尼崎辰巳ノ濱ニアリ所傳
云文治元年源義經公西國下向ノ時大物
濱ヨリ纜ヲ解テ既ニ此洲前ニ至ル于時
難風俄ニ吹テ波船ヲ覆カ如ク洲中ニ海
上空ク數廻ヲ移ス伴類白洲ニ鼎ヲ置テ
精事シタル所ナリ因テ鉄箍洲ノ号アリ
ト云リ義經公大物濱ニ出ルコト東鑑ノ
本文濱ノ部及旧屋門ニ云ル
高洲 同郡同所ニアリ風波白砂ヲ海上タ

金輪洲



ルヲ以テ高洲ノ号アリ耳ナリ
 小松沖 武庫郡小松村ニ向リ所傳云此所
 壽永年中小松三位重盛卿沉没ノ所ナリ
 小松沖歌名所トスルノ一説アリト云凡
 證歌未考嶺ヲ讀ル歌其部ニ然リ所傳ニ
 因テ俗名所ニ比ス小松ノ地名壽永ノ前
 ニアリ然ラバ沖ノ号トスルモ地名ヨリ
 出タル歟
 一之洲 矢田部郡兵庫水門ニアリ惣テ海
 濱ノ津城下泊等ノ所ニアリ海ヨリ川ニ
 入ノ始ヲ以テ一之洲ト稱ス歌名所一之

洲ハ西成郡ニシテ始ニ比ス

○津ノ部 既各所俗名所附附難海

難波津 東生郡東高津小橋等 仁德帝都
 タルヲ以テ東生ニ屬ス猶古宮ノ部ニ論
 之今ノ難波津ハ惣テ大坂ノ市中ヲ云リ
 日本書紀卷第十云應神天皇廿二年秋九
 月辛巳朔丙戌天皇狩于淡路嶋是嶋者横
 海在難波之西云今東生郡ヨリ西ニ當
 テ淡路嶋山ヲ所見ナリ 同卷第十一云
 仁德天皇六十二年夏四月遠江國司表上
 言有大樹自大井河流之濤于河曲其大十

津ト号ルノ俗語アリ 日本書紀卷第十
五云、頭宗天皇六年是秋、中鷹吉士被遣後
有女人居于難波御津云、曰事紀齊祠住
吉三以前神云

古今十七 志保ののほろおまめくら持玉藤かきん、さかづきん魚全

八續十 行てるや難波のまほく垣のひくくしりれお老子さる那 不知

夫六 曼珠寺まじりまじりおまある若の志のやれまの秋風 為氏

秋六 順え那まははの秋の定積もるゆい知紫くまたり 首家

柳津海 方角津二同じ

五妹 ありん松風をうたはれは津の海乃秋の夜を月 宗尊 親王

夫六 河田ゆふええられ大伴は津の海船やまうん 家隆

全 くれまこられねとさかづきひのり、ふれ海のよみ松風 御子 鎌倉

難波泊 方角津二同じ 日本書紀卷第十

三云、允恭天皇四十二年泊難波津則皆素

服云、泊ヲ讀ル歌未考

難波門 方角右二同じ

拾五 おま門とてはむくみね時あついでんけお難波より 後茶

夫六 いふ山屯暖ぬじ難波つとて記せとれもか紙白雲 御子

和由泊 同郡大和由村二属又一説矢田郡

郡兵庫津和田碕云、り雜類水咫衝石ニ

論之、古傳日記云二月九日、りりりわけぬ

船よりつやれも河の水をけきと、いさりののそいさ

世同和由泊のあられ乃所といふとらわりとる

敷津 住吉郡住吉ニ属ス

新古 船のりしと有少ハ船の兒發津の波りし多ハとしし 実方
夫木 於津ハいしと有成りハ内事發津ハ波ハ神ト云ふなり 俊成
ガラハ

同 住吉ハいしと有津の波子ハいしと有なり云ふなり 龍寺
朴津 方角右ニ同ジ

方 住吉津 方角右ニ同ジ津シ讀ル歌未考
日本書紀卷第十四云雄略天皇十四年春

正月丙寅朔戊寅身狹村主青等共吳國使
將吳所獻手未才伎漢織吳織及衣縫兄媛
弟媛等泊住吉津云々

難波洋 川邊郡武庫免原矢田部等ノ郡中

ニ續キ兵庫津ニ至ノ間シ指リ世間ノ村
民シ指テ世俗洋取ノ都ト稱ス

夫木 美ハ波ありは日書トシ江國ハゆハぬ灘のうしと云 行家
日五 住吉ハ江國ハゆハぬ灘のうしと云 因信

名吳門 方角住吉津ニ同シ海浦ニ證アリ
夫木 吹々ぬわぬる風ハ雲時ては此門ハ有なり月 俊成
妹四

武庫泊 武庫郡武庫村ニ属ス一説矢田部
郡兵庫津シ指リ

五十 鳴尾泊 同郡鳴尾村ニ属ス夫木集撰津云
五難 いしと有泊ありしと有海國ハ物取波あり見ゆ 人吉

夫木 隆西
冬ニ 法師

御前洋 同郡廣田村ニ属ス海浦濱ニ同ジ

夫木 後惠
法師

蘆屋洋 免原郡芦屋村ニ属ス

新七 業平
今雜

一春 芳の芳乃めいし何やまの成行のまを去拂い

同上 河乃屋の地ぬわまし志月ふ社のいほりま

須磨泊 夫田部郡須磨村ニ属ス大各寄撰

津國ニ比ス泊ヲ讀ル歌未考

四八津 方角未考藻鹽撰津國ニ比ス

五六 ぬいどりあうづる去わつれ地縁なほほやう沼あふも 道守 郡王

○同俗各所

大坂津 所傳始ニ論之

堀之津 住吉郡ニ属ス大坂ヨリ行程凡三

里ヲ隔タリ此津天武天皇御宇白鳳十二

年諸國ノ堀ヲ定ルノ所撰泉ノ堀今モ市

中ニアリ世俗京大坂堀ヲ指テ三箇ノ津

ト稱ス堀町村ノ部ニ載之

兵庫津 夫田部郡ニアリ西海ノ諸船于是

集テ風波ノ平ニシ窺大坂ニ渡海スルノ

要津也一説歌名所武庫泊トス此外尼崎

三田高槻等ノ域下津ノ中ニ推スルト云

凡各村ノ部ニ載^ス之^ツ因^テ以^テ畧^シ畢^リ又^ハ滿^チ

攝陽群談卷第六終

[Faint, mostly illegible text within a rectangular border]

